

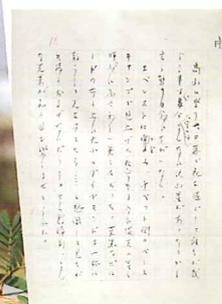
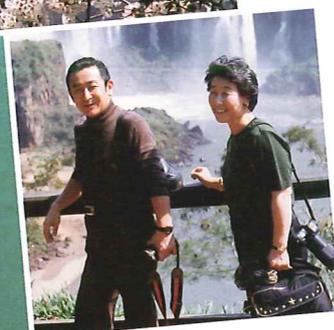
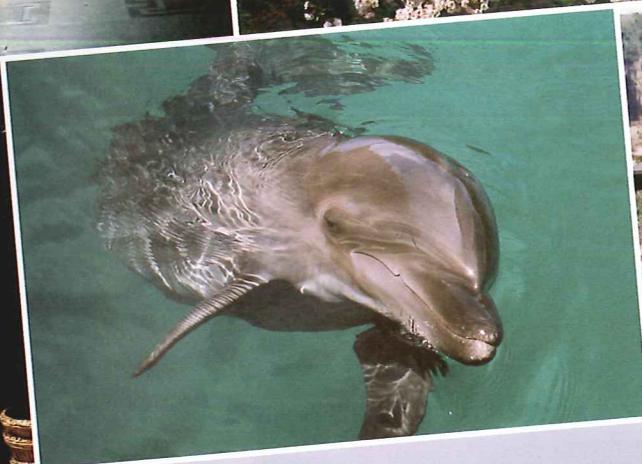
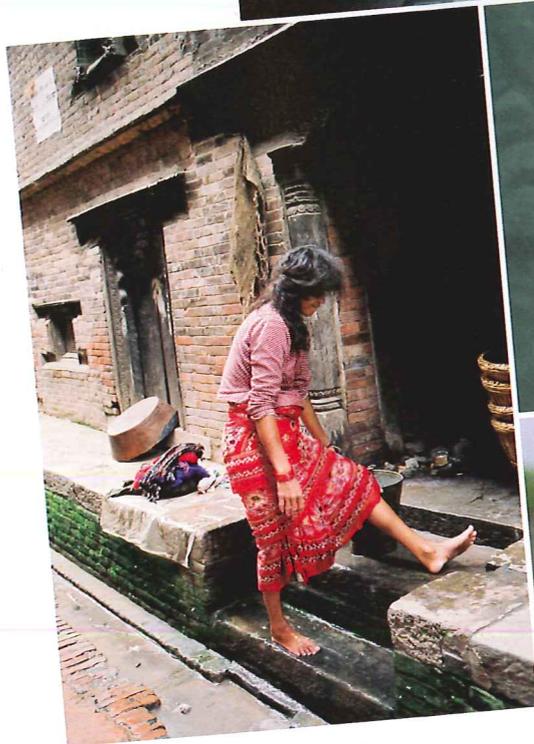
特別展

# 地球家族バンザイ

橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ

平成20年4月6日(日) - 5月25日(日)

- 開館時間 = 9時 - 17時(入館受付は16時30分まで)  
月曜日休館(月曜祝日の場合は翌日)
- 入館料 = 一般600円 高校生400円 小・中学生無料 友の会会員無料  
団体(20名様以上)、シルバーカード・障害者手帳提示の方等 2割引
- ギャラリートーク = 毎週土曜日 14時から



- |   |   |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 5 | 3 |
| 4 | 6 |
|   | 7 |
1. ヴァチカン市国にて
  2. 残雪と桜
  3. イグアスの滝にて
  4. 安全な水
  5. ハンディを持つ方の為に
  6. イメージ
  7. 写真解説文自筆原稿

## 林原美術館

岡山市丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733  
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

# 地球家族バンザイ

橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ

地球家族バンザイ 橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ展に寄せて——橋本久美子

本日はお忙しいところ「地球家族バンザイ 橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ」展に足をお運びいただき心よりお礼申し上げます。

橋本は平成18年7月に68歳でその生涯を閉じ、今年は早くも3回忌になります。多忙中にもあってもいろいろな趣味を持ち、特に寸暇を惜しんで道場に通い、剣道を生涯の友としていました。彼の人生の様々な節目にあたり、いつの間にか多くの刀剣が集まりました。

また、父龍伍の影響で子供の頃から登山と写真に親しみ、公務で海外に行くときや、プライベートの旅行でも必ずカメラを携えていました。移動中の町中で、会議の合間のふとした時間を見つけてはシャッターを切っておりました。大きなレンズや、フイ

ルムをたくさん持った秘書君を引き連れて、カメラを構えて歩き回っている主人の姿が懐かしく思い出されます。

今回の展覧会ではそうした刀剣類と橋本の撮影した写真を展示していただいております。写真の解説文は生前、本人が直接書いたものです。展示品を通して、人間・橋本龍太郎の一端にでも気を留めていただければ、遺族としてこれに勝る喜びはございません。

最後にこの展覧会を企画・開催して下さいました林原美術館の皆様にご心よりお礼申し上げます。更にご来館下さった皆様ご心地よい春の一時を楽しんでいただけますようお願いいたします。

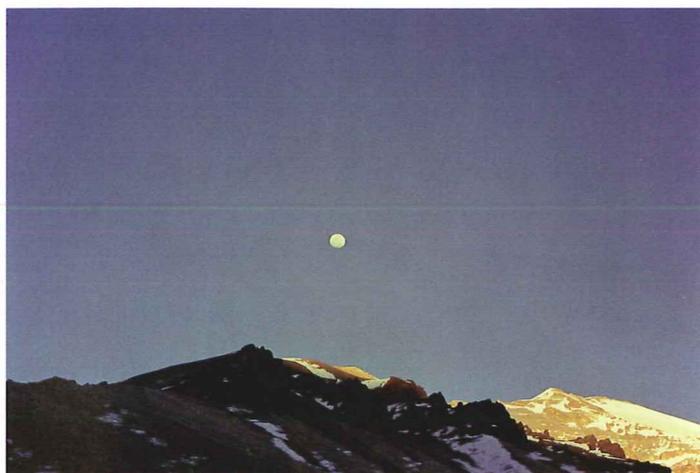
動物園で生まれ育ったライオンや虎はアゴの発育が悪く、野生のものに比べて顔が細長くなる。嘘ではない。毎日与えられる餌のためだ。細面の虎やライオンは、ハンサムかも知れないが、迫力に欠け、何となくたよりない。

このことに気付いてから、どうも檻の中の動物の写真をうつすのがつまらなくなった。

しかし、このカップルは実に堂々と恋?を語っている。檻の中の他人、いや他鳥を無視した行動がほほえましく、ついカメラを向けた。



「Loving Bird」



「夢幻」

高山に登り、天幕で夜を過ごして、誰もが感じることは、多分、空にはこんなに沢山星があったのか、という驚きの念にちがいない。

エベレストに挑み、チベット側のベースキャンプで見上げた夜空も、まさに満天の星と呼ぶにふさわしい美しさだった。真っ黒なビロードの布の上に大小のダイヤモンドを一杯に散らして、光を当てたら……と想像してみたが、やはりおぼないだろう。その数瞬間前、こんな光景が私の目を楽ませてくれた。

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086)223-1733 FAX (086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前行・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展 「備前」

平成20年6月1日(日)~7月27日(日)

あらゆる加飾を排し、ただやきしめて成形する備前焼。その素朴な姿は侘茶の成立により「ひえかれた美」として認められるところとなりました。館蔵品の中から室町時代から江戸時代にわたる備前焼を紹介いたします。